

あ な た と 市 政 を む す ぶ



かんおんじ

2021 / 令和3年

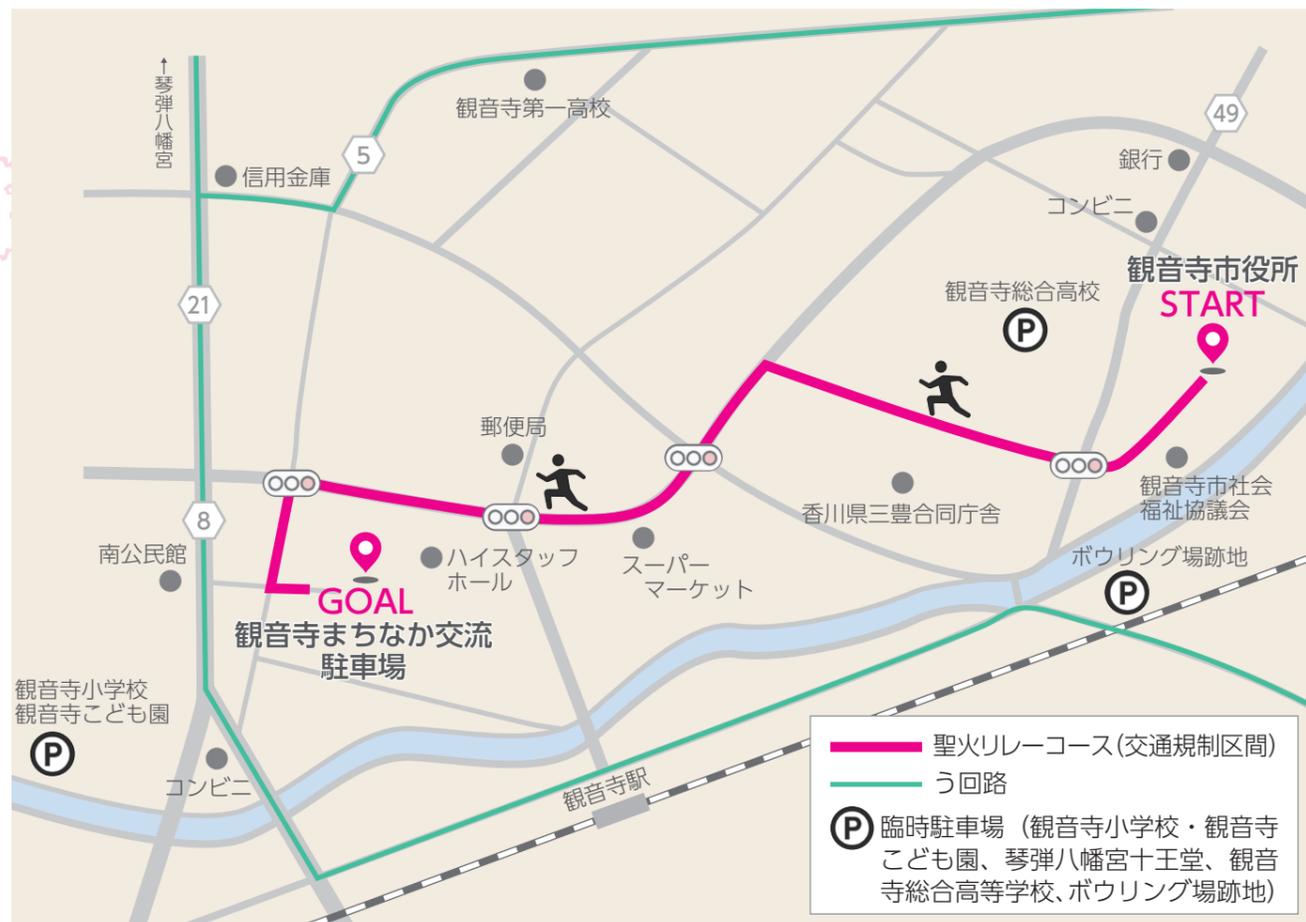
4 April

特集

東京オリンピック・パラリンピック開催

聖火がまちにやってくる





聖火リレー日時・場所

4月17日(土)

出発予定時間 午後6時23分ごろ

出発地 市役所本庁舎

到着地 観音寺まちなか交流駐車場
(ハイスタッフホール前)

聖火の到着を祝うセレモニー
セレブレーションを開催します

時間 午後4時50分ごろ～午後7時ごろ (予定)

場所 観音寺まちなか交流駐車場
(ハイスタッフホール前)

注意 事前申し込みで当選した人のみ入場できます。
受け付け時の手荷物検査や検温、マスクの着用にご協力をお願いします。

聖火リレーコース
交通規制にご協力をお願いします

沿道の皆さんにはご不便をおかけしますが、ご理解
とご協力をお願いします。

交通規制(通行止め) 予定時間

午後5時30分ごろ～午後7時30分ごろ

※市役所敷地内は、午前8時～午後7時まで駐車・通
り抜けできません。

問い合わせ先 市民スポーツ課 ☎23-3941

休館・運休情報

聖火リレー当日は、次の施設を休館・の
りあいバスを運休します。

- ・中央公民館 ☎23-3944
- ・中央図書館 ☎23-3960
- ・のりあいバス (伊吹線は通常通り運行)
- 地域支援課 ☎23-3949

特集 **聖火**がまちに
やってくる

夏にオリンピックが開催

ことし7月から、東京2020
オリンピック・パラリンピッ
クが開催されます。開催に先立
ち、全国で聖火リレーが行われ
香川県では4月17日・18日の2
日間、約180人のランナーが
聖火をつなぎます。

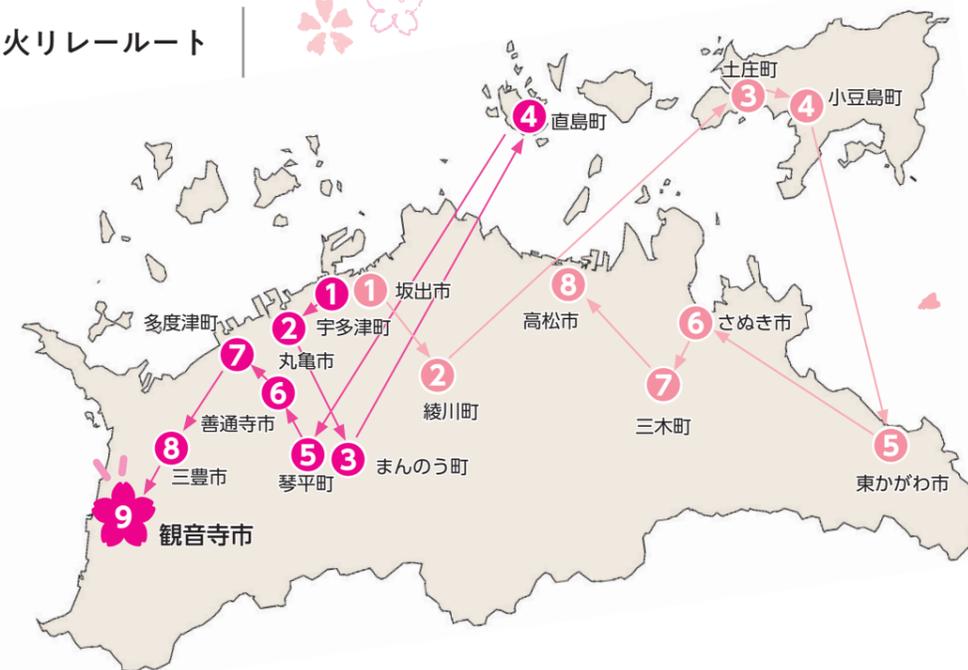
聖火が全市町を巡る

1964年9月20日・21日に、
香川県で初めての聖火リレーが
行われました。当時のコースは
引田町(現・東かがわ市)から
高松市までの46・7キロメー
トル。57年ぶりに香川県を駆け抜
ける聖火は、県内8市9町全
ての市町を巡ります。

観音寺市では、約1・3キロ
メートルのコースを7区間に
分け、聖火ランナーが走ります。
また、観音寺市は1日目の最終
地点となり、聖火の到着
を祝うセレモニーが行われます。

香川県の聖火リレールート

- 1日目 →
4月17日(土)
- 2日目 →
4月18日(日)



東京五輪トーチは桜の花がモチーフ

昨年12月に市役所で聖火リレートーチやポ
スターを展示する巡回展を開催。東京五輪の
トーチは高さ71センチメートル、重さ1.2キ
ログラムで、桜の花をモチーフにしたデザ
インです。リレーを応援するときは、トーチ
にも注目。



インタビュー 2

リモートで
インタビュー



高木 志帆さん
(兵庫県尼崎市)

観音寺市出身。100メートル・200メートル競走で四国記録・県記録を持つ。

オリンピックを 身近に感じてほしい

高校から陸上を始めて、大学卒業後は実業団に入り、オリンピックを目指していました。今は現役を引退しましたが、小学生向けの陸上教室のコーチをしたり、陸上イベントの手伝いをしたりしています。

高校の陸上部の先生が聖火リレーに応募してくれて、決まると連絡があったときはびっくりしました。オリンピックは本当に開催できるのかなという気持ちも半分ありますが、開催できるとなったらしっかり参加したいと思います。

聖火リレーが終わったら、トーチを持って帰って子どもたちに見せてあげようと思っています。私が走ることで、オリンピックを身近に感じてほしいです。



四国高校選手権や近畿陸上選手権など各大会で優勝 (写真右から2番目)

今は週に2回、作業療法士の先生に後ろから支えてもらい、前に体と足を押し出す練習をしています。体がぶれないようにバランスをとり、先生の動きに合わせてイメージトレーニングします。あとはヘルパーさんや家族と一緒に、密にならないよう気を付けながら、平日は毎日体を動かすようにしています。延期が決まった後、実際に外に出るのは初めてで、こんな

世界やったんか、ってかなり新鮮でした。リレー当日は自分でトーチを握りたいので、後ろで支えてくれる人、握る手を支えてくれる人と、3人で歩く予定です。

歩く姿で伝えたいこと

このような大きなけがをしたら、ほとんどの人は立って歩くことをあきらめてしまいます。僕が歩くことで、やりたいことを買っているところや、あきら



歩く練習の様子

めない姿を発信したいです。それが、今まで助けてくれた人、頑張れよと言ってくれた人たちへの一つの恩返しになるかなと思っています。当日は時間の関係などで、もしかしら歩くのが難しくなるかもしれませんが、できるだけ

自分の足で歩きたいと思っています。ランナーに選ばれて嬉しい反面、ちょっと悩むこともありま。大会組織委員会元関係者のジェンダーに関わる発言や、コロナでエッセンシャルワーカーのの人たちが大変な思いをしているのを考えると、辞退した方がいいのかとすごく迷いました。それでも、せっかく選んでもらえたのだから、その責任をしっかりと果たし、自分の思いを伝えたいと思います。

※医療や介護、交通機関、食料品関係など、生活する上で欠かせない仕事に従事する人

聖火リレーランナーインタビュー

観音寺市を走るランナーのうち、一般公募で選ばれた2人にお話を聞きました。

インタビュー 1 毛利 公一さん(観音寺町)

社会福祉法人ラーフ理事長。アメリカ留学中に事故でけい髄を損傷し、自由に動くのは首から上だけに。障がい者・高齢者の介護事業・就労支援などに取り組むほか、講演や執筆活動も行う。



やりたいことを 貫く姿を見てほしい

オリンピックは憧れの存在

元々アスリートで、陸上の棒高跳びを中学校から大学まで10年ぐらいやっていました。やっぱり夢見ていたのが、オリンピック。あの舞台に立ちたいと思って競技を頑張っていました。結果的にそこまでいけるレベルにはなれませんでした。

オリンピックは僕にとって憧れの存在で、けがをした後も何らかの形で関わりたいと、棒高跳びの審判の資格を取りました。しかし、審判として実績を積む時間がなく、オリンピックには間に合わないと思っていたところ、聖火リレーの募集があり、違う形でも関わることができると応募しました。



観音寺第一高校在学中にインターハイ3位、大学時代に関東インカレ優勝など、数々の実績を持つ

コロナで聖火リレーが一度延期になりましたが、来年はできるだろうと楽観的でした。来年またチャンスがあるから、ちゃんと練習しておこうと。一昨年の12月ぐらいにランナーに選ばれましたが、その時歩ける距離が20、30メートルくらいだったんです。それを4月までに200メートルまで伸ばさないといけない、トーチをどうやって支えたらいいかなど、いろんな課題があって、短い期間でそれらをクリアしていくのは結構きついなと思っていました。だから、リレーが延びたことは僕にとってはありがたく、その間に体力を付けることができました。